

診療グループ名
レジメンセット名称

大腸がん
116 Encorafenib + Binimetinib + Cmam

投与規定 BRAF変異陽性 PDまで
インターバル日数 (7)日
レジメン基準日 day(1)

通しNo	癌	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	器具	day(1)	day(2-7)
		大塚生食注	100 mL		ラインキープ用			●	
No.1		大塚生食注	100 mL	点滴静注	メイン①	30min		●	
		デキサート注射液	6.6 mg					●	
		ポララミン注5mg	5 mg					●	
No.2		大塚生食注	500 mL	点滴静注	メイン②	120min(初回) 60min(2回目以降)		●	
	◆	アービタックス注射液 *全量500mLとなるように調製	(初回) 400mg/m2 (2回目以降) 250mg/m2					●	
No.3		大塚生食注	50 mL	点滴静注	メイン③	全開		●	
No.4	◆	ビラフトビカプセル	300 mg	内服	食後			●	●
No.5	◆	メクトビ錠	90 mg	内服	朝夕食後			●	●

上記表にて設定する抗がん剤について

通しNo	薬品名・規格	標準値	上限値
No.2	◆ アービタックス注射液	初回 400mg/m2 2回目以降250mg/m2	
No.4	◆ ビラフトビカプセル	300 mg	
No.5	◆ メクトビ錠	90 mg	

投与可能条件(初回時)

検査値	基準
Neut	≥1500
PLT	≥100000
Hb	≥9.0
sCr	≤1.5 × ULN
T-Bill	≤1.5 × ULN
LVEF	≥50%
QTcF	≤480ms

減量時の投与量

(Grade2以上の副作用発現時)

	ビラフトビ	メクトビ
通常	300mg	90mg
1段階	225mg	60mg
2段階	150mg	30mg
3段階	投与中止	投与中止

※3剤併用療法および2剤併用療法で有効性が期待できる集団と副作用プロファイルが異なる点、
ならびに治療コスト等を総合的に考慮して、メクトビ錠の併用を考慮する。

メクトビ錠の併用が有効な患者群

- ・Performance status: 1
- ・転移臓器3個以上
- ・血清CRP高値(>1mg/dL)
- ・原発巣切除歴なし